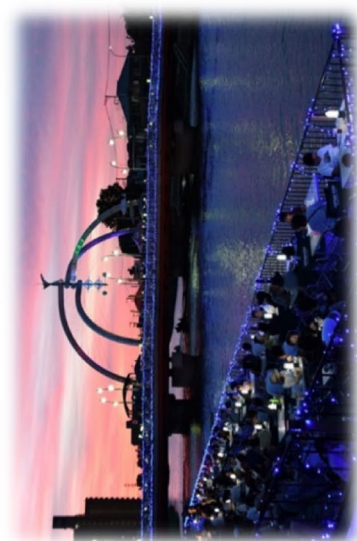


その他

春日部市

令和3年3月

春日部市リノベーションまちづくり構想



目次

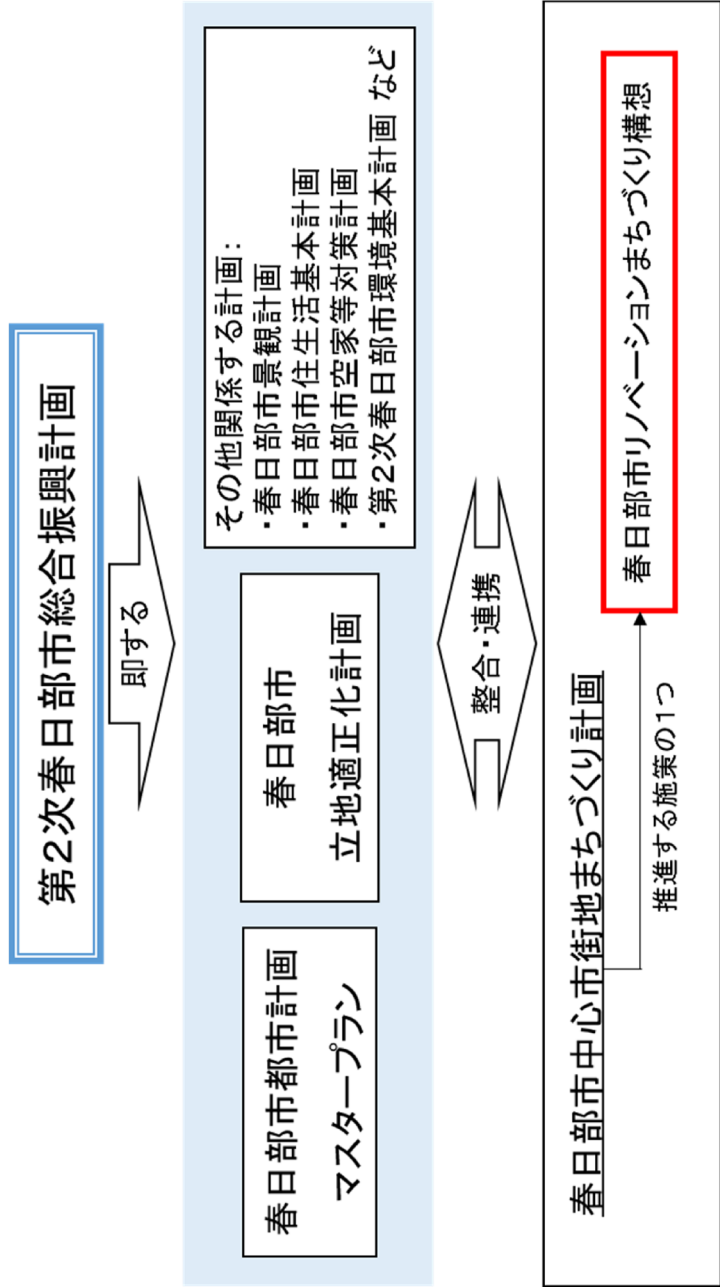
1. はじめに	
1-1 構想の位置づけ	1
1-2 中心市街地の課題	2
2. リノベーションまちづくり	
2-1 リノベーションまちづくりとは	3
2-2 リノベーションまちづくりの特徴	4
3. 構想の実現に向けて	
3-1 先行エリアの考え方	5
3-2 先行エリアの特徴	6
4. 実施計画	
4-1 エリアの目指すゴール	7
4-2 実施の仕組みとそれぞれの役割	8
4-3 その後の展開	9

1. はじめに

1-1 構想の位置づけ

○本構想は、「第2次春日部市総合振興計画」を上位計画とする本市の中心市街地まちづくりの施策の1つです。

○「春日部市中心市街地まちづくり計画」での“リノベーションまちづくり”を推進するため、公民学それぞれの役割と進め方を具体的に整理しています。

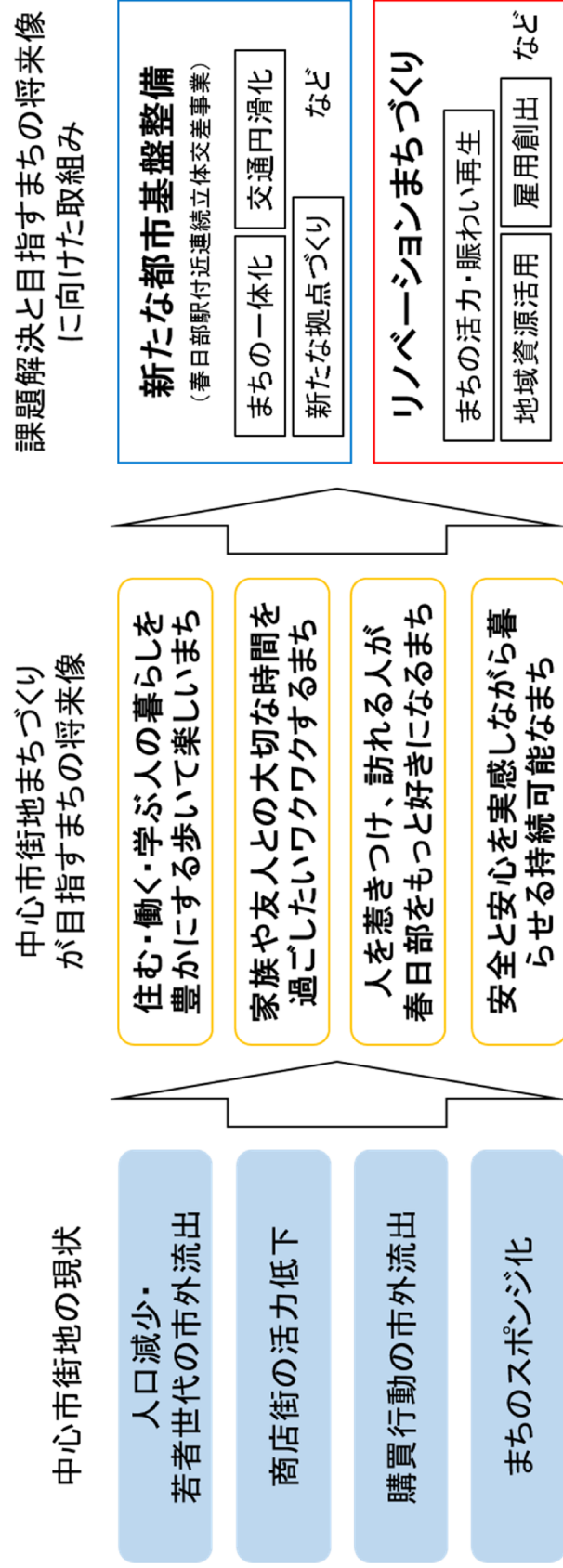


1. はじめに

1-2 中心市街地の課題

○春日部駅付近連続立体交差事業により、鉄道によるまちの分断、踏切による移動の阻害等の課題が解決されることとなりますが、まちの活力・賑わいの低下、歴史・文化といった地域資源の埋没、人・商機の市外流出などの課題を解決するには、新たな都市基盤整備と併せた、まちを活性化する取り組みが必要です。

○本市では、その取り組みの一つとして、地域資源（既存ストック）を有効活用した“リノベーションまちづくり”という手法が最も有効であると考えています。



2. リノベーションまちづくり

2-1 リノベーションまちづくりとは

リノベーションまちづくりとは

○遊休不動産や公共空間などの空間資源、地域資源、産業及び人材といった既存ストックを活用し、まちなかの消費の流出や地域のコミュニティの衰退など都市や地域の課題の解決を図りながら、まちに新しい価値や魅力を生み出すまちづくりの手法。

※リノベーション…古い建築物などの機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能(使い方)や性能(耐震や設備更新など)を付与すること。

※遊休不動産…空き家や空き店舗、低未利用地など。 ※公共空間…道路、公園、公共施設など。

リノベーション事例(草加市)



18年間休業していたお寿司屋さんをバルにリノベーションした事例。地場野菜を使った洋風おばんざいを提供し、自宅と職場に次ぐ第三の場所と感ぜられる場所をめざしています。

2. リノベーションまちづくり

2-2 リノベーションまちづくりの特徴

リノベーションまちづくりの4つの特徴

1. 収益性が高く、スピードが速い

今あるものを活かし、新しい使い方をし、まちを変える。

2. 民間主導の公民連携

民間主導でプロジェクトを興し、行政が支援する。

3. 都市・地域経営課題を複合的に解決

空き家や空き店舗などの遊休不動産を活用し、商店街や地域コミュニティの再生、雇用創出などの地域の課題解決を目的とした民間事業を興して地域を活性化させる。

4. 補助金にできる限り頼らない

自立・継続させるため経済合理性を追求する。